

トップ > 記事 > ニュース > 関東 > 【2023 新年特集】 関東特集1 地域とともに進化するSS事業者①

関東・東京 特集

2023年1月4日

## 【2023 新年特集】 関東特集1 地域とともに進化するSS事業者①

### 両毛丸善（栃木県足利市、河内寛社長）

地域に育てられ、地域とともに歩み続けてきた石油販売業者。ときには燃料油販売の枠組みを飛び越え、全く新しい形で地域に恩返しすることも。時代がどんなに変わっても、共存共栄の精神が揺らぐことはない。「地域貢献」を軸に事業を展開し、新たなジャンルに挑戦し続ける3社を追いかけた。



災害時対応実地訓練でもドローンを活用



#### <ドローン活用し地域貢献>

##### 既存事業との相乗模索

地域とともに歩み続けて一。栃木、群馬、埼玉の各県に63カ所のSSを運営する両毛丸善（栃木県足利市、河内寛社長・コスモ、ENEOS系）は、新規事業の一環として「ドローン事業」を立ち上げた。空撮、点検、農業支援、物流支援などを主軸とし、地域活性化をキーワードに既存事業との連携を目指す。

2021年からスタートさせた同事業。新規事業企画を所管する河内奈津子取締役を中心に、役職員らが一丸となって事業の青写真を描いた。「地域貢献で地域の顧客に恩返しできる事業」をベースに検討を重ね、新たにドローン事業を“柱”の1つに据えた。

「HV・EVの増加に伴い、どうしても燃料油の需要は減少傾向になっている。こうした中、ドローンを新規事業に活用する機運が社内で高まり、既存事業との相乗を模索する形でスタートした」と語るのは、地域貢献推進室の前田雅人室長。

同事業の一翼を担うのが、SKY事業課の大谷憲彦課長と塩野直樹さんだ。SS部門から引き抜かれ、現場で培った経験をもとに運行計画を立て、ドローンの操縦に役立てる。社内の有資格者9人の中でも最前線に立ち、いまなお業務スキルの研鑽に余念がない。

繊細な機械を扱う以上、予期しないトラブルは常につきものだ。「急な天候の変化に対し、飛行中止の判断や機材の不良なども発生したことがある。知識として学んでも、実際にやるのでは大違い。何度繰り返しても緊張感は絶えない」と大谷課長は苦労を語る。

最も注目しているのは「物流との連携」だという。「当社には（物流の）ノウハウやハードの財産があるので、いずれはSSを拠点としたサービスなども検討したい」と前田室長は期待を寄せる。

チームワークが織りなす組織力を武器に、地域との共生を目指す同社。「当社は“地域とともに成長する”を企業理念としている。自治体や行政機関とも連携し、民間企業の立場から地域振興に努めたい」とし、社を挙げて地域貢献に取り組む。